

障がい児・者ホームヘルプ事業

「ゆうりん」

特集号

2004年度「ゆうりん」の一年

この一年の活動を報告いたします。

2004年度も、よく遊び・よく働き・よく楽しみました！！

居宅支援は一週間でのべ30名程度の方が利用されました。家事援助の中でもヘルパーと共に買い物に行ったり、調理したり・・・自立支援のニーズが増えつつあるのが特徴です。

移動介護では、利用者さんと相談しながら個々にお出かけを楽しみ、いろんな所へ行きました。映画、プール、学園祭、温泉、大根炊き、遊園地、スケート、ボーリング、大阪城、地域の催しなどなど・・・。「やっぱり、みんなでお出かけって楽しいよねー」・・・やってよかったなあ。

2004年4月-2005年2月の活動報告

5/12	「ゆうりん」説明会		
7/29	いこま山麓公園		
8/5	手の浦ビーチ海水浴が雨天のため「リゾ鳴尾浜」へ		
8/12	手の浦ビーチ海水浴		
8/19	クッキング&コンサート		
8/20-21	キャンプ(琵琶湖)		
8/26	クッキング&コンサート	12/23	クリスマス会
8/27-28	キャンプ(琵琶湖)	1/29	自閉症学習会

*月1回程度ヘルパーミーティング開催

～居宅支援より～

◎居宅支援初日のこと1◎

居宅支援の活動に入って半年・・・思い出すのは初日のことだ。お伺いしたのはM・Kさん宅。スタッフの大島さんから引継ぎを受け、スタートする。

掃除機で掃除を始めたのはいいのだが、「あ！ここにごみがある。あ！そこにも」なんて言っているうちに気がつけば買い物に行く予定の時間が随分過ぎていた！大急ぎで買い物へ・・・スーパーに行くもどこに何があるのかが分からない為、うろうろ～ああ～どうしよう！あせるばかりである。

何とか買い物を終えた。が今度は、M・Kさん宅が分からなくなり・・・またうろうろ状態となる。電話で場所を確認したら、「大丈夫ですか？」と心配して頂く。「大丈夫です！」と言ったものの、気持ちはもうパニック状態だ。ようやく食事作りを始める。終了時間まで、1時間もなかった。結局、この日は時間が大幅に過ぎてしまった。限られた時間内のなかでの活動なのに、何も考えず行き当たりばったり。せめてM・Kさん宅の把握しておくべきだったなんて、後になって色々反省することばかりだった。

ぐちぐち言っているも何も始まらない。とにかく反省を活かして次につなげようと思い、日々支援活動に入っている。(山羽)

◎居宅支援初日のこと2◎

H君の自立支援に伺うようになり早数ヶ月。支援の一番のメインは夕食作り、今でもあの時を思い出す。数ヶ月前、初めて作る料理はカレー！！料理どころか包丁すら触ったこともないらしく、それを自慢げに言ってくるH君。それでも大丈夫だろうと思い、切り方を説明し実践してもらおう。が！！怖い、、見ているだけで怖い(焦)慌てて止めたぐらいの包丁さばきであった(汗)

次に切った野菜を炒めてもらう。H君が炒め始めて約数十秒「あちっあちっ！交代して、、」の一言で僕が炒める事に(汗)

煮込んだり、アクを取ったり、そして最後H君にルーを入れてもらう。「必殺ゴムゴムのおムチ！！」(H君の必殺技)華麗に技が決まりH君は満足顔。そして料理完成！

出来はどうあれ初めて作った料理は何ともいえない感動である。

あれから数ヶ月。今となっては包丁も使いこなし、大好きな味噌汁も作るようになり着実に自立に向けて進んでいるH君であった。(榊井)

～移動介護より～

大階段の上から ～ある日の移動介護で～

その日、京都駅のクリスマス・ツリーと一緒に見に行ったのは小学生の男の子。彼は歩きながらいろんなものを見るのが好き。気になった建物があれば「あれは何？」と聞く。聞いたものは忘れない。私はそんな彼の思いに応えようと日々努める。

その日の帰り際のこと。正面に広がる大きなクリスマス・ツリーを眺めながら大階段の上でおやつを食べていた。帰ろうと言う私に、彼は階段の上のほうを指さしてもっと遊ぶという。涙ながらに「少しだけ遊びたい」と訴えながら、歩く私の足を両手で力いっぱい止める彼。なんとか大階段から2階改札口付近まで来てもらうがその後も彼はあきらめきれない。……。少しだけ遊ぶことになった。歩き出す彼についていく私。大階段を一番上まで登る。伊勢丹の中を歩いてスカイウォークの上を歩いた。そこから見える夜景を眺めた。駅のどのあたりなのか？だが、ひっそりと立たずむ小さな美しいツリーにも出会った。

そろそろ帰らなければ、と思う私の視界に JR 改札口が見えてきた。彼は何気なく切符販売機のほうへ向かう。そして自らかばんを降ろし、切符を買うために財布を取り出した。どうやら満足したようだ。

こんなふうに日々のゆーりん活動では、介助者として真剣に利用者さんと向き合う中で、ときに怒り、ときに笑いながら一緒に楽しんでいます！（梶本）

2004年 私の「ゆーりん」活動

こんにちは。「ゆーりん」で活動している川西大祐です。「ゆーりん」が誕生するずっと前からいますが、週1回ぐらいしか活動していない超マイペース人間です。あっ、みなさん「ゆーりん」のことご存知ですね？こないだ手帳に「ゆーりん」って書いていると、「ゆーりん」っていう彼女がいるんやろ！って言われたんですよ。確かに私は「ゆーりん」大好きですけどね…。

さて、2004年度は「ゆーりん」がスタートして2年目になるのですが、私は主に土曜日の外出支援を担当しています。利用者の皆さんの希望や特性にあわせて、いろいろなところへ出かけています。最近は電車やバスに乗って移動することに、利用者もスタッフもだんだん慣れてきて、楽しめるようになったなあと感じています。今年行ったみたところは、まずプール、次にプール、またまたプール、あと湖水浴、それから海水浴…（略）。私は決して「水遊び専門家」ではないのですが、そういう活動が多かったような気がします。他にも、動物園、遊園地やカラオケなどに行きました。未経験ですが、温泉やプラネタリウム、一日歩き続けるプランもあったようです。でも、私はプールに行くことが多くて、電車で行ける範囲のプールはほとんど制覇しているんじゃないですかね。そこで、ある日の様子をお伝えして終わりにしたいと思います。

3月某日。まだまだ寒い日ですが、電車に乗り継いでプールへ行ってきました。電車に乗るまではちょっと時間がかかっても、乗ってしまえば楽しそうに外の景色を眺めているT君。到着してプールに入ると楽しそうに2時間も遊んでいました。目撃者によると、最初は一緒に楽しく遊んでいた私は、次第に体が青くなっていたそうです。それでもT君は元気に、私を水の中に潜らせて楽しんでいたのでした。以上、水遊びの修行が足りない川西でした。